

# 令和2年度 芦安小学校前期自己評価書

## 1 評価方法

学校評価の方法として、「Ⅰ 学校運営・学校経営」、「Ⅱ 学習指導」、「Ⅲ 生徒指導」、「Ⅳ 保護者・地域との連携」、「Ⅴ 学校の特色ある取組」の5領域を設定し、取り組みの状況・結果を把握する方法としてアンケート（教職員・児童・保護者）を行った。

質問に対する回答選択肢は基本的に4段階である。

A：そう思う

B：ややそう思う

C：ややそう思わない

D：そう思わない

このうちAとBは肯定的なプラス評価、CとDは否定的なマイナス評価である。

A・B・C・Dのそれぞれの選択肢を点数化し、A=4、B=3、C=2、D=1として集計し、回答者数で割って平均点をもとめた。

- ・全体にプラス評価（A・B）が多ければ、平均点は3点以上になり、4点に近づいていく。
- ・全体にマイナス評価（C・D）が多ければ、平均点は2点以下となり、1点に近づいていく。

教職員数ならびに保護者、児童数ともに、アンケート数は少ないが、2学期以降、共通理解して取り組む必要があることが明らかになったものもある。

## 2 学校評価の分析と改善方策

### (1) 全体評価

教職員・児童・保護者のアンケート調査の結果は、昨年度後期の傾向はほぼ同様であり、肯定的評価となっている。前年度に引き続いて芦安小学校の教育活動が、保護者の理解と協力を得ながら、効果的に実践されていることや児童が充実感と向上心を持って学校生活を送っていることが見てとれる。

#### I 学校運営・学校経営

〔達成状況〕

良好な状態である。多くの項目で全職員から肯定的な評価が得られている。校務分掌が適切に機能し、教育活動全般に対して組織的に対応できている。特に、生徒指導上の課題に学校全体とスクールカウンセラーなど外部機関と連携して組織的に対応できている。安全管理・学校施設管理については、十分に対応ができていた。

### 〔改善策〕

それぞれの課題には全職員で取り組んでいくこと、全職員が学校教育目標や研究テーマをより意識して、学校運営にあたることができるように、日々の教育活動のねらいや目標を全職員で明確にしながら進めていくことを再確認したい。

教育活動全般に対して、教職員全体で一層同僚性を高めるとともに、課題に対処するだけでなく、問題が起きる事前の取組を重視していきたい。

## Ⅱ 学習指導

### 〔達成状況〕

教職員の自己評価からは、「あしやすスタンダード」の実践、学習のめあての示すことや基礎基本の確実な定着に向けて、授業改善が確実に進められていることがわかる。また、児童・保護者アンケートからも、一人一人に合わせたきめ細かな指導が行われている。

課題として、児童アンケートから、楽しい授業や発表・話し合い活動など言語活動を重視した授業が十分にできていないことが読み取れる。また、家庭学習については、前期同様で、あまり改善が見られていない。

### 〔改善策〕

楽しい授業・わかる授業の実践に向けて、個々の児童の実態に応じた課題設定や授業の導入の工夫、校内研究を通して、少人数学級での話し合い活動のあり方などさらに授業改善を含め、少人数学級での在り方を継続的に研究・実践を進めていく。家庭学習の取組については、保護者の協力を得ながら継続的に取り組んでいきたい。

## Ⅲ 生徒指導

### 〔達成状況〕

教職員・児童・保護者のアンケートから、教職員全体で、児童一人ひとりとのコミュニケーションを大切にしながら児童理解、共感的理解に努め、信頼関係ができていることが読み取れる。

少人数ではあるが、いじめの問題、友達同士の関係、教職員の児童理解に対して、不十分だとする意見があったことも看過できない。

### 〔改善策〕

児童への声かけを積極的に行い、児童一人一人と向き合い、児童との信頼関係を向上させるとともに、保護者との信頼を築けるよう努めていきたい。少なくなっているが、アンケートで授業や友達関係について否定的な回答をした児童については、これからも児童の悩みや不安などは見過ごさず、全職員で解決を図り、継続的な見守りをしていく。また、いじめは決して許されないこと、学校生活の中でけじめをつけることについては、強く指導していきたい。

#### Ⅳ 保護者・地域との連携

〔達成状況〕

保護者・地域との連携については、「新緑祭り」「PTA 総会」「学校林整備」など PTA 活動や地域連携の活動が中止される中、難しい対応を求められてきた。

本年度も、保護者・地域への学校教育活動の情報提供は、学校だより・学年だよりを通して行ってきたが、さらなる情報の提供や保護者・地域の意見の聞く機会を求める意見がある。

〔改善策〕

今後も、コロナ禍であるが、本校の特色である自然体験活動については、児童の健康・安全を第一とする芦安ファンクラブや協力隊の協力、保護者の理解・協力を得ながら実施していきたい。

同様に、学校行事や PTA 活動では、芦安小中学校の伝統・文化を大切にし、保護者や地域の方々の理解と協力を得る中で実施していきたい。

#### Ⅴ 学校の特色ある取組

〔達成状況〕

自然学習などは、昨年度までとは異なる内容で、実施できる範囲で行ってきた。一方で、小中一貫教育・活動については、コロナ禍で制限される活動が多く、十分にできたと言えないところがある。

〔改善策〕

「芦安郷育」「小中一貫教育」は、これからも大切にしていきたい。そのためには、保護者・地域に積極的に情報を発信し、説明責任を果たし、保護者や地域の声に耳を傾け、信頼を得て、連携・協働しながら教育活動を充実させていきたい。また、外国語科（英語科・外国語活動）が実施されている。これまで培った児童の英会話力、コミュニケーション能力を維持・向上させるための方策を今後も行っていきたい。

学校教育目標を見据え、本年度の活動の反省をもとに、「小中一貫教育」のさらなる充実に向けて、全職員が協力して、来年度も本校の特色ある取組を推進していきたい。